

平成 29 年度並木小学校 PTA 第 6 回運営委員会・議事録

日時：平成 30 年 3 月*日(金)**:**~**:** 場所：並木小学校 PTA 室
出席数：20 名（本部 9 名、顧問 1 名、学年委員会 6 名、専門委員会 3 名、他委員会 1 名、
ボランティア G1 名、オブザーバー 1 名）

PTA 会長挨拶・学校長挨拶

PTA 会長より冒頭に次年度の新規本部候補 3 名(オブザーバー1+現委員長 1+現本部 1)が出席している旨紹介があった。また学校長より卒業生(6 年生)を祝う会、在校生による 6 年生を送る会が行われた旨紹介があった。

ボランティアグループの活動報告

図書ボランティア 〈世話役：**様より〉

[活動目的] 司書(**先生)を補助し、児童の図書環境を整備する事

[活動日時] 司書の出勤日に合わせ 2 回/月、**:**~**:**の間（出入り自由）

[人員] ボランティア登録は約 20 名。活動日の参加人数は日によって異なる

[活動内容] 基本的に当日司書と内容を決めて図書室で活動。

- ・ 図書新規受け入れ、修復、廃棄などの蔵書整理
- ・ 学級文庫の入れ替え
- ・ 図書室のディスプレイや環境整備（カーペット敷き、カーテンの入れ替え等）
- ・ 講演会を不定期に企画実施（今年は読み聞かせボランティアと共同で「語り」をテーマの講演）

[コメント] 司書の先生が図書室に来られるのが限られた時間であるため、図書室に児童だけの時間もある。図書室により長く司書が在室できるよう学校からつくば市に要望してほしい。また和気あいあいと活動するボランティアなので興味のある方は是非参加してほしい。

審議事項

1. H30.4 規約改正について **資料 1**（当議事録に添付）

[趣旨] 第 40 回 PTA 総会(H29. 4. **)で PTA を任意参加団体にしたこと及び平成 29 年度の PTA 活動・運営で見出された課題を受け、PTA 規約等の改正を第 41 回 PTA 総会(H30. 4. **)に提案し承認を得たい。

- (1) 入退会の手続きに関して（第 4 回運営委員会で承認済みのルールを提案予定）
- (2) 委員会の定数変更について（第 2 回運営委員会で承認済みの定数を提案予定）
*卒業記念事業委員会は定数を記載しないが、選考委員会による募集対象とする。
- (3) 本部役員の弾力的運用について
 - 1) 複数代表制の採用：会長職 1 名が引き受ける仕事の負担を分散する趣旨
 - 2) 会長・副会長経験者によるアドバイス：PTA 本部のスムーズな引き継ぎと運営を意図
 - 3) 役員の兼任：本部役員の定員が満たない場合でも安定的に運営できるための措置
 - 4) 役員（議決権あり）の任期上限の延長：意欲ある人が長期的視野で運営に関与可能とする
- (4) ボランティアグループについて
*今まで位置付けがなかったボランティアの設置、活動の態様などを PTA 規約・細則に含める。
- (5) その他

時代にあった用語の適正化、PTA をとりまく実情に合わせた表現の適正化を反映。例えば PTA 規約第 2 条(目的)では「父母」→「保護者」「教職員」→「小学校職員」「社会」→「地域社会」など。

[議論]

(意見①) 細則では「選考委員会は 6 年を除く各学年より 1-2 名」とあるが 6 学年が除外される理由は？
→ 6 学年は次年度卒業であり選考に携わる必要性が小さく、また卒業記念事業委員会で人数が必要とされるため。ただし、他学年に児童がいる 6 年生保護者が参加できるよう「原則として」の一言を追加することが考えられる。

(意見②) (5)のその他文言修正は、全規約に反映するのか。
→ 全規約に反映させる。

(意見③) (4)でボランティアを規約に追記することは良いが、専門委員会とボランティアの違いが少なくなりボランティアの良さが失われないかが心配。

→専門委員会とボランティアの区別はあまりなくても良いと考える。委員会経験者がボランティアに関わっていることも多く、異なる価値を見出しているかもしれない。なお、定期運営委員会でボランティアの方に毎年1度活動内容を説明してもらっている。

2. 本部役務の輪番対応について資料2

[趣旨] 次年度の本部役員が定員を満たさない場合、会長等の役務を学年委員会に輪番で対応する案を提案。話し合った上で次年度の新本部・顧問が対応できると判断した場合は採用しない余地もある。

会長が関わる仕事は、内向け(書類決裁、運営委員会議事進行)と外向け(市P総会、県P総会、懇親会等出席)である。内向けの運営委員会の議事進行は各学年委員で輪番にすることでより活発な議論が期待できる。配布資料の書類決裁の仕組みは、良い方法を考える必要がある。外向けの仕事である市、県P連や女ネットはそれぞれに重要度は異なるが、会長以外の運営委員会の構成員が参加してどのようなことがなされているのか知るのも良い機会となる。各学年委員で分担して参加することを提案する。夏祭り実行委員への出席が全4回あるが夏祭り担当となる役員には立候補者がいる。

(意見) 本提案について「定員を満たさない場合」とあるが、定員を満たす場合でも適用することは有用である。外向けの市県P連へは並木小PTAより負担金を払っている。何がされているか監視し、他の学校がどうなっているか様子を知ることは良い。女ネットも井戸端会議の雰囲気もあるが、参加すると情報共有となり良い経験になる。

3. 次年度本部役員の各役職の決定、運営委員会の運営方法討議

[趣旨] 現在次期本部役員候補として応諾されているのは4名であることから、この4名で役割を決めるか今後も定員を選考委員会で探すかを決定する必要がある。

→2の役割分担案があることから4名が良いのではないかと、見つからないのでは学年委員の方に協力していただいて4人で本部を担当するしかないのではないかとという意見もあったが、選考委員会で再度アンケートを実施し募集をかけることとした。そこで集まらない場合には4人で担当をすることとなる。

報告事項

1. 会計決算報告〈本部会計〉資料3
2. 次年度本部役員選考結果
3. 学年委員会および運営委員会の活動報告および活動予定(資料4)・当議事録に添付)

その他

4. 運営委員会連絡方法について(本部書記) 資料5
5. 新委員名簿調査(本部書記) 資料6
6. 学年委員会 引継ぎについて(本部書記) 資料7

(質問①) X学年委員(現x学年)の立候補者が第一候補者4名、第2候補者が2名だが、クラス分けが決まる前に第一候補者を学年委員に決めても良いのか。

→決めてもよいのでは。なお事前に決めたもののクラス分けで委員が偏ったので先生に相談した前例があった。

(要望①) 第6学年の花束費用の請求箇所が本部と卒業記念事業の2か所があり煩雑なので、改善してほしい。

→運営委員会や本部に、問題点と解決方法を提示してもらえば対応可能。6学年委員と卒業記念実行委員との間で次期の改善方法を引継ぎするのがふさわしい。

運営委員会引き継ぎ会(顔合わせ)開催予定

平成30年4月**日(金)****(審議の上、確定)

各委員会にて新委員長へご連絡ください。

※今回は今年度最後の運営委員会です。一年間ご協力頂き、ありがとうございました。

(議事録：平成 29 年度 PTA 運営委員会書記)

